

	コード	名 称		区分	コード	名 称		
事業名	815	地域ぐるみの同和教育総合事業		会計	01	一般会計		
				款	10	教育費		
				項	05	社会教育費		
基本 施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する		目	08	教育集会所費		
				細目	449	教育集会所事業費		
行革大綱の重点事項番号		7		細々目	52	地域ぐるみの同和教育総合実践活動事業		
担当部課	コード	450900		担当者 氏 名	東構 清隆	連絡先	23 - 3157	
	名 称	教育委員会八幡町教育集会所					(内線)	

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)		崇広中学校区の小中学校、保育所(園)の教職員、保護者及び地域		※対象件数
成果(どうする)		教育関係者や保護者など子どもに関わる関係者が連携し、人権に対する共通認識と理解を持つために、情報交換や研究会に多くの人が参加するようになる。		
根拠法令・要綱等				
開始年度	平成	年度	関連事業	
終了年度	平成	年度		
H21 事業 内容	(崇広中学校区地域ぐるみの人権・同和教育推進委員会へ委託)			
	①崇広中学校区並びに校区内の4小学校の校長と人権・同和教育推進委員が会合し、各学校の教育実践交流をするともに課題を明らかにし、教育実践を確率するための研究協議を実施した。			
	②崇広中学校区地域ぐるみヒューマンフェスタ実施に向けて、実行委員会、拡大実行委員会を開催し、フェスタの運営、設営等の会議を展開した。			
	③部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすため、地域をあげた人と人とのつながりを構築することを目的とした「第1回崇広中学校区ヒューマンフェスタ」を開催した。			
社会情勢 の変化等				

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			目標	目標		
	ブロック交流会の開催	回	実績	実績	11	11
				5		
	ヒューマンフェスタの参加団体	回	目標	目標	30	30
			実績	0		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標	目標		
	ブロック交流会の参加者数		人	実績	実績	80	80
					55		
	ヒューマンフェスタの開催	より多くの人の参加を目指す	人	目標	目標	1500	1500
				実績	1500		

投入コスト			H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
	直接事業費計 (A)		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
			298	400	400	400
	Aの財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他	0	0	0	0
		一般財源	298	400	400	400
	事業投入人件費 (B)		0.4人 2,880	0.4人 2,880	0.4人 2,880	0.4人 2,880
	フルコスト(A)+(B)		3,178	3,280	3,280	3,280

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)			備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		各小・中学校及び保育所(園)での人権教育の取り組みの連携と、保護者や地域が共通の認識と理解のうえに立って、情報交換や研修を行うことは意味深い。
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	○	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○	
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
達成度	当初設定した計画を 予算の繰越の有無	100% 無	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
	【事業名】		
	受益者負担を求めることができる事業である。		
効率的	全体コストにおける負担構成は適正である。	○	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	崇広中学校校区内の学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで相互的教育力を高めるためヒューマンフェスタを平成21度より開催することになり、実践活動を行うことを通じて、豊かな人権感覚を身につけた子どもを育成するとともに、地域においても人権草の根活動と協働し人権意識の高揚を図る。
昨年度の取組状況	【状況】計画のとおり進んでいる 【詳細】「第1回崇広中学校区地域ぐるみヒューマンフェスタ」を開催したことにより、校区内各学校、幼稚園、保育所(園)、PTA、人権団体等が従来の枠組みを越え一丸となり、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向け、行動で第一歩を踏み出す人権啓発を展開する取り組み体制づくりができた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	富岡 通郎
事業の方向性	【方向性】拡大・充実 【理由】
現時点における課題、その他	校区内の団体、住民と行政が一体となった事業を展開することにより、官民相互の連携が図られ、より効果があがる事業の推進に努める。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	今年度開催のヒューマンフェスタの参画団体を増やす